

子宮内膜症手術における手術戦略と電気メスの使い方



医療法人 伯鳳会 大阪中央病院

松本 貴 先生

【学歴】

1986年 岡山大学医学部医学科 卒業
岡山大学医学部産科婦人科学教室 入局

【職歴】

1994年 4月 愛媛県立中央病院産婦人科
2006年 4月 健保連大阪中央病院婦人科
2019年 4月 健保連大阪中央病院 副院長兼婦人科部長
2020年 7月 医療法人伯鳳会大阪中央病院 副院長兼婦人科部長

【資格】

日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医技術審査委員

【学会評議員など】

日本産科婦人科内視鏡学会評議員、日本内視鏡学会評議員、近畿産婦人科内視鏡手術研究会理事長

ご所属は2024年9月現在の情報です

イントロダクション

子宮内膜症手術においては、次の4つの点を手術の戦術として考えておくべきだと思っています。

1. 生殖器に入る血管(子宮動静脈・卵巣動静脈等)に注意する
2. 術後排尿障害を及ぼすため、尿管下腹神経筋膜から外側はできる限り攻めない
3. 微小な血管や腹膜下の結合繊などMicroanatomyをよく見る
4. デバイスの特性を利用して電気外科手術を行う

